

広報こざがわ

復興に向かって ～がんばろう！ 古座川～

<臨時号1>



月野瀬温泉ぼたん荘営業再開

〔目次〕

- 2 p…ぼたん荘、被災から2ヶ月で営業再開
- 3 p…被災された方の確定申告に関するお知らせ
- 4 p…関西テレビ、古座川町を取材

ぼたん荘、被災から

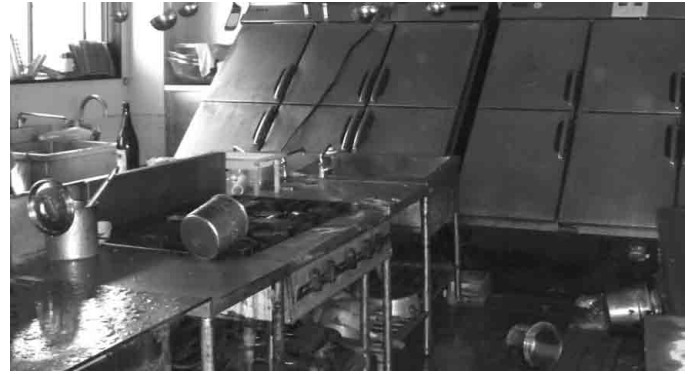
2ヶ月で営業再開

ぼたん荘は、平成8年3月にオープンして今年で15年目です。平成23年3月からは、公益法人改革により、公益法人から一般財団法人に移行を完了し、従業員一同心新たに営業に取り組んでいました。

その努力もあって業績も順調に伸び、今年8月



お披露目式でのテープカット



被災直後（厨房機器）



復旧後（厨房機器）

より開始したダツキー体験も好評で、9月に向け大勢の来客を期待してしました。

しかし、台風12号の影響で本館、温泉館は床上85センチ、いろいろ館は床上206センチまで浸水し、施設は大変な被害を受けました。

10年前の台風11号では、ぎりぎりの所で浸水は免れましたが、今回は予想をはるかに超え、厨房を

はじめ1階の機器備品類は使えなくなりました。

また、温泉館も使用できなくなりましたが、浸水等により自宅のお風呂が使えない方々に入浴して頂くため、早期復旧を目指し取り掛かりました。そのような中、湯を沸かす釜2基の提供を受け、温泉館の復旧を待たず、お風呂の無料提供を始めました。

温泉館が復旧してから

は、9月28日～10月28日の間、無料温泉入浴サービスを行って頂き、近隣住民の方々やボランティアの皆様など約3000人が訪れ、疲れを癒されました。

そうした中、従業員の懸命の努力と、ボランティアの方々やボランティアの方々の支援もあり、少しずつではありますが、営業に向けての取り組みが進められました。そして、台風が去って約2ヶ月後の11月1日、営業を再開しました。

【産業振興課】



被災直後（レストラン）



復旧後（レストラン）

災害により被害を受けられた方の 確定申告に関するお知らせ

災害により被害を受けられた方への確定申告説明会を開催いたします。

災害により住宅や家財などに損害を受けたときは、確定申告で「災害減免法に定める税金の軽減免除」による方法、「所得税法」に定める雑損控除の方法のどちらか有利な方法を選ぶことによって、所得税の一部または全部を軽減することができます。

詳細につきましては、新宮税務署に直接問合せいただくか、説明会、または災害関連確定申告会場へ起こしください。

《問い合わせ先》

新宮税務署

TEL 0735-22-5304

	《災害により被害を受けられた方の確定申告説明会》
日時	平成23年12月21日(水) 14:00~15:30
会場	古座川町中央公民館

※上記説明会では申告書の受付は行っておりません。

	《災害関連確定申告会場》
日時	平成24年1月23日(月)~1月24日(火) 9:30~12:15 13:00~15:00
会場	古座川町中央公民館

【申告の際にご用意いただくもの】

- ・被害を受けた住宅の床面積及び取得年月日、自家用車の取得年月日などが分かるもの
- ・保険金等で補填される金額がある場合、その金額が分かる書類
- ・り災証明の写し(り災証明の発行が受けられない方は、被害状況の分かるもの)
- ・源泉徴収票(給与、年金収入のある場合)や所得控除に係る各種証明書
- ・振込先金融機関の口座番号が分かるもの
- ・印鑑

※サラリーマンの方や年金受給者の方の還付申告、所得税・消費税の確定申告につきましては、2月中に申告会場を開設いたします。

【財政課】

関西テレビ、古座川町を取材

関西テレビの夕方の報道番組「スーパーニュー スアンカー」が古座川町の復興状況取材しました。10月31日、高瀬の河原で鮎の火振り漁を背景に町長が古座川町の現状と課題についてインタビューを受けました。

台風12号から2ヶ月がたった今の現状について町長は「古座川町の復興は、順調に進んでおり、ゴミ置き場や、老人ホームも十分とはいえないまでも回復し、既に学校も



テレビ取材を受け、復興状況を語る

始まっている」と報告し、復興にご協力いただいたボランティアの方々に御礼しました。

また、住民の方の現在の暮らしについて大工さんや畳の不足について問題を挙げ、今後の課題として、「公共施設や住宅を高台に移したいと考えているが、経費の問題や予算の問題など、いろいろな問題を抱えて頭を痛めている」と述べました。

そして、「地元の自治体だけではどうしようもない予算の話について国や県に対していかがでしょうか」という問いに対し町長は、「特別な交付税とかそういったものを付けていただければありがたい。住民の生活が一日でも早く取り戻せるようにそういった対策をすぐ



被災当時の明神小学校



被災後、みんなの店前に集められたゴミ

希望」と国や県に対してテレビというマスメディアを通じて強く要望を行いました。

そのあと、再開した火振り漁が取材されました。火振り漁を50年以上続けている東功さんご夫婦がインタビューを受け、清流古座川に戻りつつある現状を喜んでおられました。

それから、この古座川で獲れた鮎を食べることが出来ると11月1日から営業を再開したぼたん荘が取り上げられました。

ぼたん荘もまた大きな被害を受けましたが、急ピッチで修繕を行い、当初の復興予定より2ヶ月早く再開が出来ました。支配人も取材を受け、ぼたん荘へ足を運んでもらえるようPRしました。

古座川町の被災後の現状と課題、復興状況が映像を通して関西一帯に届けられました。

【総務課】



火振り漁をする東功さんご夫婦



豪雨により増水した古座川（明神）